

令和 5 年 度 事 業 評 価 書

会計区分	01	一般会計					事業主体	02300000	産業振興部 環境課		
大事業	61	6つのまちづくり宣言	—	款項目	04	衛生費	01	保健衛生費		01	保健衛生総務費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-				目標値	-	
中事業	05	主要な取り組み	—								
小事業	01	ペット等適正管理事業		目標年度	令和6年度						



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	狂犬病予防法に基づいた狂犬病予防注射や、動物の愛護及び管理に関する法律において動物との共存が求められている。 また、ペットを飼っている人と飼っていない人での動物に対する認識の違いに加え、ペットを適正に管理するよう指導していかないと人の生命、身体及び財産に対する侵害並びに生活環境の保全上の支障をきたす恐れがある。				
	事業目的	(1) 対象 ペットを飼っている市民（動物愛護法） 犬を飼っている市民（狂犬病予防法） 飼い主不明な猫や多頭飼いの飼い主（地域猫及び迷惑動物） (2) 目的 動物との共存 狂犬病予防法に基づいた犬の飼い方を周知し場合によっては指導する 飼い主不明猫の繁殖抑制と地域の公衆衛生を守る				
	事業概要	・ ペットの飼い方、その他動物に対する苦情対応 ・ 飼い犬の新規登録、所有者移動、登録抹消等の事務を行う。 ・ 狂犬病予防法に義務付けられた狂犬病予防注射を実施する。 ・ 飼い主不明な猫の不妊治療費を補助し、猫の自然繁殖を抑制する。 ・ 動物の適切な飼い方（フン・尿等）を助言し、地域の公衆衛生を守る				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	790	1,287	1,096	898	906
	決算額	740	974	799	882	
年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）		202 / 605				



アウト プ ット	活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	予防注射接種啓発	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	2	
アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	予防注射接種率	目標値	86	86	86	86	86
		実績値	80	80.2	79.7	74.5	

実 績	狂犬病予防注射接種率 74.5% 予防注射接種啓発回数 2回 飼い主不明猫不妊等手術 20件
効 果	適正なペットの飼育を行うことにより、人と動物の共存やペットを飼っている人と飼っていない人との相互理解が深まり、互いの生活を充実したものに出来ている。

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	3月と10月に飼い主に対して直接ハガキを送付し啓発を行うことが出来たことで目標値を達成した。
K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	目標値を達成することが出来なかった。日本国内では長期にわたり狂犬病が発症していないため、飼い主の意識の低下が要因にあると思われる。
実績からR06年度の 事業の方向性	引き続き、新規登録の際に注射の必要性や法による義務であることを飼い主に説明していく。

令和５年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	02300000	産業振興部 環境課		
大事業	61	6つのまちづくり宣言	—	款項目	04	衛生費	01	保健衛生費		06	公害対策費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-				目標値	-	
中事業	05	主要な取り組み	—								
小事業	10	環境保全事業			目標年度	令和6年度					



イン
プ
ット

事業実施の 背景にある課題	環境保全を怠ると温室効果ガスの排出や森林伐採により、地球温暖化が進行する。 また、自然環境の破壊や生態系の変化により多くの生物種が絶滅の危機に瀕してしま う恐れがある。 環境基本条例にもあるように、環境への負荷が少なく持続的に発展できる社会の実 現と、豊かで快適な環境の保全の創出に積極的に取り組んでいかなければならない 。					
事業目的	(1) 対象(誰、何を対象にしていますか) 河川、地下水の水質 事業所等の騒音、振動及び悪臭 大気 汚染土壌及び地下水 (2) 目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 安全な環境を維持することで、市民が安心して暮らせる 環境の保全を行い、安全な生活を回復させる					
事業概要	・ 公害発生時等の緊急対応(野焼き、空地の管理含む) ・ 水質、騒音等の定点測定により変動を把握 ・ 土壌汚染地域において水質検査と浄化処理を行う ・ 環境教育として地元小学校で川の生きもの調査等を行う					
事業費 (千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	2,036	2,006	2,484	2,937	2,249
	決算額	1,636	1,645	2,211	2,876	
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		2,216 /			0	

実
績

実 績	・公害、苦情対応 110件 ・河川等水質定点測定 26件 ・騒音、大気定点測定 5件 ・カワゲラウォッチング 9校 4年生 600人 ・緊急測定 1件 水質0件、騒音1件
効 果	環境基本条例にもある、現在と将来の世代の市民が環境と共生しながら健康で文化的な生活を営むことができるようにすることに寄与する。KPI数値が0ということで、事業所からの排水や、事故などでの化学物質が基準値を上回る河川への流出がなく、河川の水質が基準値以下で安心安全な環境を維持できた。



評
価
分
析

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	市内全地区の小学校4年生対象にカワゲラウォッチングを実施した。コロナによる規制も解除され、小学校全校参加できた。
K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	河川水質調査5か所、加茂川は年間4回、その他河川は2回行っており、定期的に市内河川水質を監視している。通常基準値を超えることはないの で、異常があれば県と対応する。
実績からR06年度 の事業の方向性	市が環境保全に取り組まなければ、市民が安心安全な環境での生活が得られないため、今後も引き続き取り組んでいく。



アウト プット	活 動 指 標 (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	環境への関心度 カワゲラウォッチング参加人数	目標値	530	530	530	530	530
		実績値	469	600	600	600	



アウト カム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	安心安全な環境の維持 河川水質調査 B O D基準以下 基準値超える件数	目標値			0	0
	実績値				0	

令和 5 年 度 事 業 評 価 書

会計区分	01	一般会計					事業主体	02300000	産業振興部 環境課		
大事業	61	6つのまちづくり宣言	—	款項目	04	衛生費	02	清掃費		02	塵芥処理費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-				目標値	-	
中事業	05	主要な取り組み	—								
小事業	13	塵芥処理事務費		目標年度	令和6年度						



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	ゴミの分別は環境保護と資源の有効活用のために必要である。廃棄物の量が増え、有害物質が適切に処理されないと環境へ悪影響を及ぼす。				
	事業目的	(1) 対象 全市民 (2) 目的 廃棄し処分するゴミとリサイクルによる再資源化可能なものの周知促進を図る				
	事業概要	・カレンダー等を作成し、ゴミ分別及び収集日に関する情報を、市民に周知する				
	事業費 (千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	1,145	1,578	1,389	1,195	953
	決算額	806	898	1,148	1,140	
アウト プ ット	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	202 / 101				



アウト プ ット	活 動 指 標 (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	アパート等のカレンダー配布事業 所数	目標値	50	200	220	220	150
		実績値	50	245	215	132	

アウトカム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	カレンダー配布数	目標値	20000	20000	20000	20000	20000
		実績値	20000	18000	20000	20000	

実 績	カレンダー20,000枚配布 アパート等のカレンダー配布事業所数 132箇所
効 果	カレンダー配布により、正しい収集日にごみの排出がされることにより、地域の衛生環境が適正に保たれた。また、資源を回収することによりごみの減量と循環型社会の形成に寄与できた。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因 個人経営者が管理会社に管理を委託するようになったため、延べ件数としては減った。 現実的ではない目標値となっているためR6年度以降の目標値を修正した。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因 日本語だけでなく他言語で6か国分を作成したことにより、市内在住の外国籍の方にも広く配布できた。
	実績からR06年度の 事業の方向性 紙ベースによるカレンダーの配布については当分の間継続していく。そのほか、ホームページの閲覧やLINEの登録への利用も促進していく。

令和５年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	02300000	産業振興部 環境課		
大事業	61	6つのまちづくり宣言	—	款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	塵芥処理費	
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-			目標値	-		
中事業	05	主要な取り組み	—								
小事業	14	ごみ収集事業		目標年度	令和6年度						

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、毎日の生活から排出されるごみの収集運搬を行う必要がある。
	事業目的	(1) 対象 市民、事業所 (2) 目的 ごみ袋の安定供給をすることで市内の衛生環境を適正に保つことが出来る
	事業概要	・ごみ袋の作成販売、集積所の管理、ごみ収集運搬業務の円滑な運用。 ・地域のごみ集積所を適正かつ清潔に管理してもらうための管理費を支給。
	事業費 (千円)	R02 R03 R04 R05 R06
		予算額 204,032 195,723 206,065 206,179 207,757 決算額 198,032 194,141 202,877 205,619
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	1,411 / 504

アウト プ ット	活 動 指 標 (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	ごみ減量啓発活動	目標値	6	6	6	6	6
		実績値	4	5	5	3	

アウトカム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	生活系可燃ごみ搬出量	目標値	8300	9000	9000	8500	8000
		実績値	9025	9045	9047	8737	



実 績	実績	生活系可燃ごみ 8,737t ごみ減量啓発活動 3回 集積所管理費支払い自治会数 169自治会 ゴミ袋作成数等 可燃大 1,600,000枚 可燃小 540,000枚 不燃大 60,000枚 不燃小 30,000枚 資源大 40,000枚 資源小 60,000枚
	効果	住民が安定したゴミ出しができることにより、家庭内の衛生環境が清潔に保たれた。



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	SNSやHPでの情報発信により、早急に広く多数の方に周知したためイベントなど現場での啓発活動の代替えとした。そのため目標値に達成しなかった。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	昨年度から搬出量は減ってはいるが、目標値は達成することが出来なかった。市の人口は増えているため、どうしてもその増加分はそのまま搬出量に反映されてしまう。搬出量全体は今後も減らしていきたい。
	実績からR06年度の 事業の方向性	目標値に近づけるようにごみ減量の啓発を行う。また、資源化を促進し循環型社会の形成に向けたための啓発も行う。ごみの啓発は減量と再資源化の促進を継続して進めていく。

令和 5 年 度 事 業 評 価 書

会計区分	01	一般会計					事業主体	02300000	産業振興部 環境課		
大事業	61	6つのまちづくり宣言	—	款項目	04	衛生費	02	清掃費		03	環境整備費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-				目標値	-	
中事業	05	主要な取り組み	—								
小事業	18	クリーン作戦事業		目標年度	令和6年度						



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	清潔で美しい環境は地域の魅力やイメージに大きく影響を与える。清掃活動が不十分の場合には地域の魅力が低下してしまう。 また、地域住民の環境美化意識の低下は生活環境にも悪影響を与える。				
	事業目的	(1) 対象 市民 (2) 目的 地域住民の環境美化意識の向上と美しいまちづくりを推進することで衛生環境を適正に保つ				
	事業概要	・美濃加茂市全域で一斉に実施されるクリーン作戦の実施				
	事業費 (千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	2,211	2,213	2,258	2,349	2,374
	決算額	1,339	1,176	1,586	1,643	
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	303 / 101				



アウト プ ット	活動指標 (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	ごみ収集量 (草以外) kg	目標値	2800	2600	2600	2600
		実績値	3430	2920	2060	1700

アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	クリーン作戦参加者数	目標値	13000	12000	12000	12000
		実績値	11449	7663	9156	7809

実
績

実績	クリーン作戦 7,809人参加 ゴミ収集量 33,700kg 内訳 草 32,000kg 草以外 1,700kg (可燃物900kg 不燃物、粗大600kg 資源物200kg)
効果	回収日を設けて、市内一斉に行うことにより各地域において清掃活動が行われ、市民の環境美化意識が高まった。

評
価
分
析

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	クリーン作戦の参加者が減っていること、ポイ捨てごみも減っていることから草以外のごみは減っていると考えられる。
K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	地区によっては参加者全員の把握が難しく、人数報告をもらえていない地域もあるため、目標値を下回った。参加者は毎年一定数あるため参加人数のカウント方法を見直していく。
実績からR06年度の 事業の方向性	引き続き、クリーン作戦が市が行う清掃活動としての認識が定着しているため、自分たちのまちは自分たちで美しくするという考えのに基づき、市民一人一人が自発的に地域の美化を保ってもらえるよう啓発していく。 R5年度までは、9月に開催していたが、気温が高いため熱中症や、急いで実施することによる事故にもつながりかねないため、R6年度以降は11月の開催に変更する。